通常の学級

平成○○年度　個別の教育支援計画
〔指導計画〕

（１学期）　　２年１組　氏名（　○○　○○　）

１年間の目標	・教師や友達の話を聞こうとすることができる。
評価	

	実　　態	指導目標	指導場面	指導の手立て	評価
学習面	【うまくいっている状況】 ○生活科など、興味のある学習には積極的に取り組むことができる。 【つまずいている状況】 ○担任の説明中に思いついたことを一人でつぶやくことが多いが、名前を呼ぶと黙って話を聞くことができる。	○町探検の学習で、教師や友達の話を聞くことができる。	○授業 ○休み時間 給食	○教師が説明をする際は、実物や身振りを交え、分かりやすく伝える。 ○本児のつぶやきのよさを認め、周囲の児童に伝えて、児童同士のやりとりをつなぐ。 ○本児の興味のある話を聞いて思いを受け止め、信頼関係を形成する。	
生活面	【うまくいっている状況】 ○友達が好きで、自分からかかわろうとすることができる。 【つまずいている状況】 ○連絡帳を書く時間に友達とおしゃべりをすることがあるが、そばに行って「連絡帳」と声をかけると、取り組むことができる。	○連絡帳を書くことができる。	○帰りの会	○連絡帳を書く際、内容を小さなメモにし、本児にそっと渡して声をかける。 ○連絡帳が書けたら、となりの友達と確認し合い、互いにできていたら握手をする。	

合理的配慮	教育内容・方法	・座席の位置を前方にし、集中しやすいようにする。 ・準備物や活動内容をメモで渡し、自分で確認しながら進められるようにする。
	支援体制	・授業中に本児が離席し、教室を出て行ってしまった場合、隣の学級の教師が教頭に伝え、教頭が学級に入る。担任は本児に対応できるようにする。
	施設・設備	・特になし。

記載内容について承諾しました。

平成○○年５月１０日　保護者名（　○○　○○　　）